

令和5年度神奈川県介護支援専門員

専門研修課程Ⅰ・Ⅱ

実務経験者に対する更新研修 (専門研修課程Ⅰ・Ⅱと同内容)

研修のご案内



社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
(福祉保健研修交流センター ウィリング横浜)

目 次

- 1 令和5年度 神奈川県介護支援専門員専門研修・更新研修を受講するにあたって……1ページ
- 2 神奈川県における介護支援専門員資格更新のための研修フローチャート……2ページ
- 3 介護支援専門員の実務経験として認められる範囲について……3ページ
- 4 専門研修課程Ⅰ・更新研修(専門研修課程Ⅰと同内容:56時間) 開催要綱……4ページ
- 5 専門研修課程Ⅱ・更新研修(専門研修課程Ⅱと同内容:32時間) 開催要綱……6ページ
- 6 専門研修課程Ⅰ・更新研修56時間 研修日程・カリキュラム・研修会場……8ページ
- 7 専門研修課程Ⅱ・更新研修32時間 研修日程・カリキュラム・研修会場……9ページ
- 8 WEB 申請の方法……10ページ
- 9 専門研修課程Ⅰ・更新研修56時間 受講申込書Ⅰ……11ページ
- 10 専門研修課程Ⅱ・更新研修32時間 受講申込書Ⅱ……13ページ
- 11 介護サービス計画作成証明書(※地域包括支援センターで介護支援専門員以外の配置の方)……15ページ

他機関での研修開催など、介護支援専門員に関する情報については、
「神奈川県のホームページ」内の **介護支援専門員のページ** でご確認ください。

URL: <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/cnt/f3721/index.html>

令和５年度 神奈川県介護支援専門員 専門研修・実務経験者向け更新研修を 受講するにあたって

平成１８年４月の介護保険法の一部改正に伴い、介護支援専門員の更新制度（５年ごと）が導入されました。

そして、平成２６年から介護支援専門員の研修制度の見直しが検討され、新しく研修カリキュラムが変わりました。平成２８年度より、厚生労働省より示された「介護支援専門員専門研修課程ガイドライン」に基づき、本研修を実施しております。

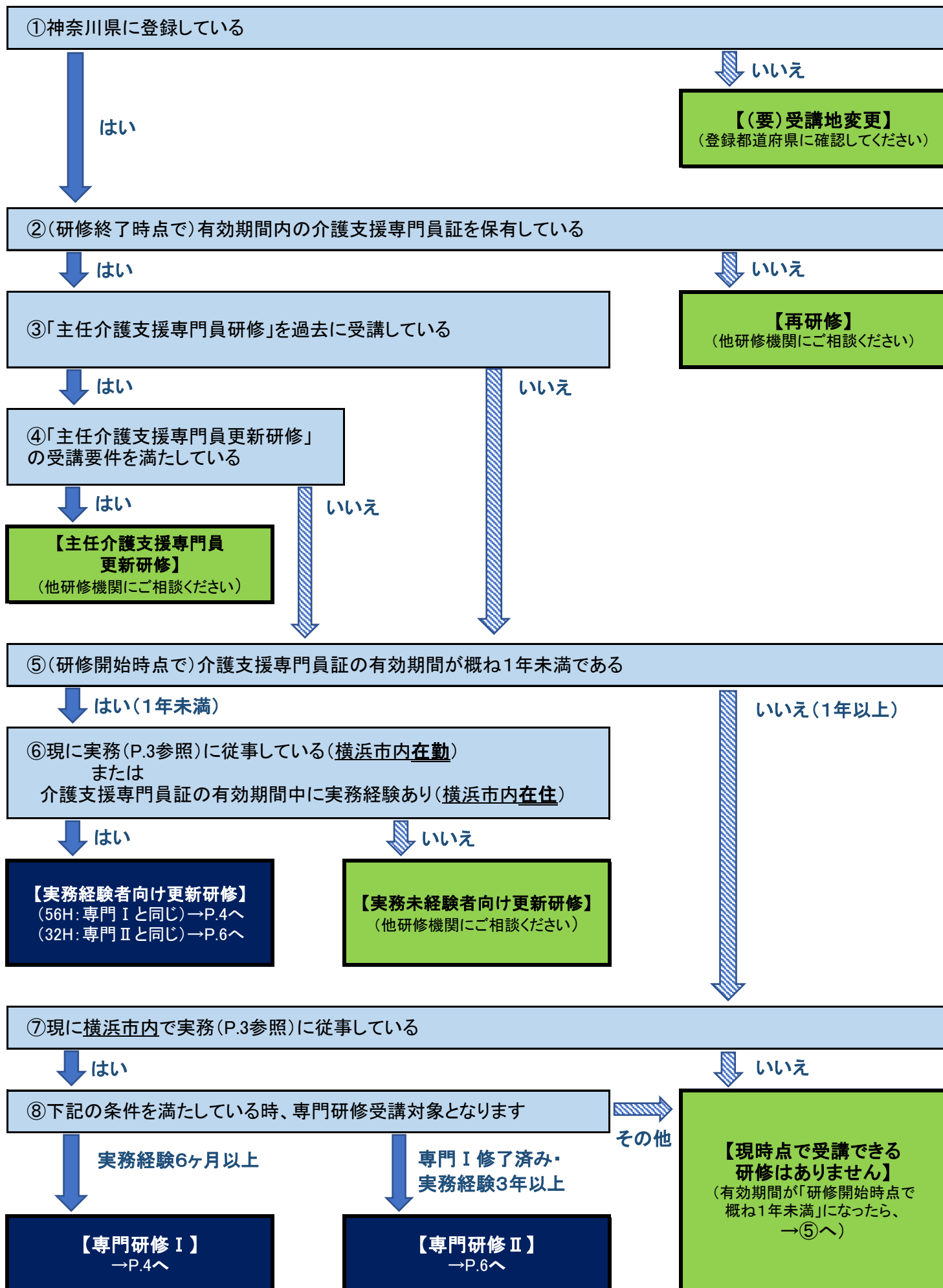
介護支援専門員の方には、資格有効期間満了日が設定されています。有効期間満了日以降も引き続き介護支援専門員として実務に就く方や就く予定のある方は、有効期間満了日前までに実務経験者向け更新研修または「専門研修課程Ⅰ（６か月以上就業中）及び専門研修課程Ⅱ（３年以上就業中）」を修了し、介護支援専門員証の更新をする必要があります。

有効期間満了日後に実務に就く予定がない等で更新を希望されない方は、更新研修を受講する必要はありません。

なお、有効期間満了日がすでに過ぎてしまった方は、再研修等を受講することで介護支援専門員証を更新し、実務に就くことができます。

以上を踏まえて、次ページからの「資格更新のための研修フローチャート」及び「研修開催要綱」をご熟読の上、研修受講についてご検討くださいますようお願いいたします。

神奈川県における介護支援専門員資格更新のためのフローチャート(簡易版)



介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・Ⅱおよび実務経験者に対する更新研修（専門研修課程Ⅰ・Ⅱと同内容）における介護支援専門員の実務経験として認められる範囲について

介護支援専門員としての実務経験の範囲は、次の事業所又は施設において、介護支援専門員として就労し、かつサービス計画の作成を行っている（※１）ものとなります。

① 居宅介護支援事業所（※２）

② 特定施設入居者生活介護に係る居宅サービス事業所

③ 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護及び地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護に係る地域密着型サービス事業所

④ 介護保険施設

⑤ 介護予防特定施設入居者生活介護に係る介護予防サービス事業所

⑥ 介護予防小規模多機能型居宅介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護に係る地域密着型介護予防サービス事業所

⑦ 介護予防支援事業所

⑧ 地域包括支援センター（※３）

※１ 単に、要介護認定のための調査を行っていた場合や利用者やサービス提供事業者との連絡調整のみを補助的に行っていたのみで、サービス計画の作成を行っていなかった場合は、実務経験として認められない。

※２ 指定居宅介護支援事業所においては、基準上、常勤専従の管理者を置くこととなっているため、当該管理者については、実務経験として認められる。

※３-１ 地域包括支援センターにおいて「介護支援専門員」として配置され、就労している場合は、実務経験として認められる。

- 2 保健師または社会福祉士等として地域包括支援センターに配置され、就労している者のうち、現にサービス計画を作成、または作成した経験がある場合は、その介護サービス計画の作成について事業所から証明（参考様式１）を受けることで、介護支援専門員の実務経験に相当するものとして認めることとする。

神奈川県ホームページ『介護支援専門員の研修情報』

「更新研修における介護支援専門員の実務経験として認められる範囲について」（２０２３年４月）より引用

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 神奈川県介護支援専門員専門研修
専門研修課程Ⅰ・実務経験者に対する更新研修（専門研修課程Ⅰと同内容）
開 催 要 綱

1 開催目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とします。

なお、本研修は、介護支援専門員証に有効期限が付されたことによる「更新研修」として実施し、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員としての必要な専門知識及び技術の修得を図ることにより、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的とします。

2 研修事業名

令和5年度 神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅰ

令和5年度 神奈川県介護支援専門員実務経験者に対する更新研修（専門研修課程Ⅰと同内容）

3 対象者（受講資格）

（1）専門研修課程Ⅰ

以下の4項目を全て満たす方

- ① 原則として神奈川県に介護支援専門員として登録されている方
- ② 研修開始時点（8/29）で、介護支援専門員証の有効期間が概ね1年以上ある方
- ③ 現在、横浜市内の事業所で介護支援専門員としての**実務（＊）**に従事している方
- ④ 研修申込み時点で、介護支援専門員としての就業後6か月以上の方

＊介護支援専門員の実務経験として認められる範囲については、3ページをご確認ください。

（2）実務経験者に対する更新研修（専門研修課程Ⅰと同内容）

以下の3項目を全て満たす方

- ① 原則として神奈川県に介護支援専門員として登録されている方
- ② 研修開始時点（8/29）で、介護支援専門員証の有効期間が概ね1年未満の方
- ③ 下記の要件⑦・⑧のいずれかに該当する方。
 - ⑦ 現在、横浜市内の事業所で、介護支援専門員としての**実務（＊）**に従事している方
 - ⑧ 横浜市在住で、現在は実務に就いていないが、介護支援専門員証の有効期限内に介護支援専門員としての実務経験（＊）を有する方

＊介護支援専門員の実務経験として認められる範囲については、3ページをご確認ください。

- ◆ 受講に際しては、いずれの研修も全日程を受講可能であることが前提となります。
- ◆ 受講を希望される方は、「資格更新のための研修フローチャート」でどの研修に該当するかを必ずご確認ください、「受講申込書Ⅰ」をご記入ください。

4 研修日程・カリキュラム・研修会場

詳細については、8ページの「研修日程・カリキュラム・研修会場」をご参照ください。

＊指定の期間に、研修動画（4科目、計12時間）を視聴、修了評価を実施していただきます。

受講にあたっては、パソコンまたはタブレット、イヤホン・スピーカー（必要に応じて）、インターネットがつながる環境が必要です。通信料は受講者負担です。

＊申込み多数の場合はご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。

5 受講料

43,200円

*受講料の納付方法については、受講決定の際にお知らせいたします。また、受講料振込後は特段の事情がない限り受講料の返金はできません。予めご了承ください。

*補講料は1科目につき、2,000円となります。

(補講は研修実施機関がやむを得ない事情と認めた場合に限りです)

6 定員

112名 *定員を超えた場合は、介護支援専門員資格を喪失する日の到来が早い方を優先

7 申込方法

指定の「WEB フォーム」【推奨】もしくは「郵送」により申請してください。

(1) 申込手順

(WEB フォームの場合)【推奨】

*10 ページの申請方法を確認の上でお申込みください。

(郵送の場合)

*同一事業所内で複数の方が申込をされる場合は、受講申込書をコピーしてご利用ください。

*提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。

*「専門研修課程Ⅱ(更新研修32時間)」も受講希望の方は、同じ封筒に入れてお申込みください。

該当者	提出書類
(ア)全員提出	『受講申込書Ⅰ』 (様式:11 ページ)
(イ)全員提出	『介護支援専門員証』の写し
(ウ)前回更新が「再研修」または「実務未経験者向け更新研修」の場合	『修了証明書』の写し
(エ)【実務経験として認められる範囲】(3 ページ)の中で、「⑧地域包括支援センターに勤務する者」のうち、「※3-2」に該当する場合	『介護サービス計画作成証明書』 (様式:15 ページ)

(2) 申込期間

令和5年6月20日(火)～令和5年7月11日(火)【消印有効】

(3) 受講決定

受講の可否は郵送でお知らせいたします。(令和5年7月中旬発送予定)

*令和5年7月28日(金)までに通知が届かない場合は、下記までご連絡ください。

8 研修修了の認定方法

本研修では、各科目において国が定めた到達目標が設定されています。その達成度を確認するため、各科目の終了時に「修了評価」を実施しております。

「修了評価」は神奈川県介護支援専門員現任研修等支援会議で定めた方法により、実施します。

また、修了評価で到達目標を達成し、かつ全課程を修了した方に対し、「修了証明書」を発行いたします。

9 申込・問合せ先

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

福祉保健研修交流センターウィリング横浜 人材開発担当

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー4階

電話:045-847-6674 FAX:045-847-6676

URL: <https://www.yokohamashakyo.jp/willing/>

【お問い合わせ時間】 9:00から17:00まで(土日祝日を除く)

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 神奈川県介護支援専門員専門研修
専門研修課程Ⅱ・実務経験者に対する更新研修（専門研修課程Ⅱと同内容）
開 催 要 綱

1 開催目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とします。

なお、本研修は、介護支援専門員証に有効期限が付されたことによる「更新研修」として実施し、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員としての必要な専門知識及び技術の修得を図ることにより、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的とします。

2 研修事業名

令和5年度 神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ

令和5年度 神奈川県介護支援専門員実務経験者に対する更新研修（専門研修課程Ⅱと同内容）

3 対象者（受講資格）

（1）専門研修課程Ⅱ

以下の5項目を全て満たす方

- ① 原則として神奈川県に介護支援専門員として登録されている方
 - ② 研修開始時点（11/29）で、介護支援専門員証の有効期間が概ね1年以上ある方
 - ③ 現在、横浜市内の事業所で介護支援専門員としての実務（＊）に従事している方
 - ④ 専門研修課程Ⅰまたは更新研修（専門研修Ⅰと同内容）を修了している（または11/29以前に修了を予定している）方
 - ⑤ 研修申込み時点で、介護支援専門員としての就業後3年以上の方
- *介護支援専門員の実務経験として認められる範囲については、3ページをご確認ください。

（2）実務経験者に対する更新研修（専門研修課程Ⅱと同内容）

以下の3項目を全て満たす方

- ① 原則として神奈川県に介護支援専門員として登録されている方
 - ② 研修開始時点（11/29）で、介護支援専門員証の有効期間が概ね1年未満の方
 - ③ 下記の要件⑦・⑧のいずれかに該当する方。
 - ⑦ 現在、横浜市内の事業所で、介護支援専門員としての実務（＊）に従事している方
 - ⑧ 横浜市内在住で、現在は実務に就いていないが、介護支援専門員証の有効期限内に介護支援専門員としての実務経験（＊）を有する方
- *介護支援専門員の実務経験として認められる範囲については、3ページをご確認ください。

- ◆ 受講に際しては、いずれの研修も全日程を受講可能であることが前提となります。
- ◆ 受講を希望される方は、「資格更新のための研修フローチャート」でどの研修に該当するかを必ずご確認ください、「受講申込書Ⅱ」をご記入ください。

4 研修日程・カリキュラムならびに研修会場

詳細については、9ページの「研修日程・カリキュラム・研修会場」をご参照ください。

*A・Bのコースから、受講を希望する順に優先順位を設定してください。

*全日程、同一コースでの受講となります。科目によってコースを変更することはできません。

*指定の期間に、研修動画（1科目、4時間程度）を視聴、修了評価を実施していただきます。

受講にあたっては、パソコンまたはタブレット、イヤホン・スピーカー（必要に応じて）、インターネットがつながる環境が必要です。通信料は受講者負担です。

*申込み多数の場合はご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。

5 受講料

32,200円

＊受講料の納付方法については、受講決定の際にお知らせいたします。また、受講料振込後は特段の事情がない限り受講料の返金はできません。予めご了承ください。

＊補講料は1科目につき、2,000円となっています。

(補講は研修実施機関がやむを得ない事情と認めた場合に限りです)

6 定員

352名 ＊定員を超えた場合は介護支援専門員資格を喪失する日の到来が早い方を優先

＊参考(令和4年度)定員:216名、申込者:468名

7 申込方法

指定の「WEB フォーム」【推奨】もしくは「郵送」により申請してください。

(1) 申込手順

(WEB フォームの場合)【推奨】

＊10ページの申請方法を確認の上でお申込みください。

(郵送の場合)

＊同一事業所内で複数の方が申込をされる場合は、受講申込書をコピーしてご利用ください。

＊提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。

＊「専門研修課程Ⅰ(更新研修56時間)」も受講希望の方は、同じ封筒に入れてお申込みください。

該当者		提出書類
(ア)全員提出		『受講申込書Ⅱ』(様式:13ページ)
(イ)全員提出		『介護支援専門員証』の写し
(ウ)該当する証明書をいずれか提出	平成17年以前の「介護支援専門員基礎研修課程」を修了した場合	『受講カード』の写し
	前回更新が「再研修」または「実務未経験者向け更新研修」の場合	『修了証明書』の写し
	(上記以外)「専門研修課程Ⅰ」(更新研修33時間または56時間)受講の場合	『修了証明書』の写し ※受講中・受講予定の場合は修了後に提出
(エ)前回の更新で「専門研修課程Ⅱ」(更新研修20時間または32時間)を受講した場合		『修了証明書』の写し ※直前に修了したもの
(オ)【実務経験として認められる範囲】(3ページ)の中で、「⑧地域包括支援センターに勤務する者」のうち、「※3-2」に該当する場合		『介護サービス計画作成証明書』 (様式:15ページ)

(2) 申込期間

令和5年6月20日(火)～令和5年7月11日(火)【消印有効】

(3) 受講決定

受講の可否は郵送でお知らせいたします。(令和5年9月初旬発送予定)

＊令和5年9月15日(金)までに通知が届かない場合は、下記までご連絡ください。

8 研修修了の認定方法

本研修では、各科目において国が定めた到達目標が設定されています。その達成度を確認するため、各科目の終了時に「修了評価」を実施しております。

「修了評価」は神奈川県介護支援専門員現任研修等支援会議で定めた方法により、実施します。

また、修了評価で到達目標を達成し、かつ全課程を修了した方に対し、『修了証明書』を発行いたします。

9 申込・問合せ先

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

福祉保健研修交流センターウィリング横浜 人材開発担当

〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー4階

電話:045-847-6674 FAX:045-847-6676

URL: <https://www.yokohamashakyo.jp/willing/>

【お問い合わせ時間】 9:00から17:00まで(土日祝日を除く)

令和5年度 神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修56時間 研修日程 カリキュラム・研修会場<別表1>

※記載の時間は講義時間です。今後変更する場合があります。詳細は受講決定通知にてご確認ください。
※受付・オリエンテーションは各日程ともに講義開始30分前から開始する予定です。
※各科目の終了時に「修了評価」を行います。研修終了時間はあくまで予定でございます。ご了承ください。

【会場受講】ウィリング横浜での講義・演習科目
【動画視聴】インターネットでの動画配信を視聴 配信期間：9月12日～25日

日程	日 時		科 目	研修会場
1 日 目	令和5年 8月29日 (火)	9:30～17:30	【講義・演習】 ・ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び 課題の設定 (12時間) 講師：松川竜也氏	【会場受講】 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
2 日 目	令和5年 8月30日 (水)	9:30～17:30	【オリエンテーション】 ・オンライン受講に向けて	
オン ライ ン 受 講	令和5年 9月12日 (火) ～25日 (月)	(3時間)	【講義】 ・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 講義動画：(国) 介護支援専門員オンライン研修より	 WEB 受講 各受講生の視聴環境にて
		(3時間)	【講義】 ・対人個別援助技術及び地域援助技術 講義動画：(国) 介護支援専門員オンライン研修より	
		(2時間)	【講義】 ・ケアマネジメントの実践における倫理 講義動画：(国) 介護支援専門員オンライン研修より	
		(4時間)	【講義】 ・ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種 協働の実践 講義動画：(国) 介護支援専門員オンライン研修より	
3 日 目	令和5年 9月20日 (水)	9:30～13:50	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する 事例 (4時間) 講師：中村匡宏氏	【会場受講】 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
		14:50～17:00	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・状態に応じた多様なサービス (地域密着型サービス、施設サービス等) の活用 に関する事例 (4時間) 講師：新井仁子氏	
4 日 目	令和5年 9月21日 (木)	9:30～11:40	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・入退院時等における医療との連携に関する事例 (4時間) 講師：洪正順氏	
		12:40～17:00	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 (4時間) 講師：栗原美穂子氏	
5 日 目	令和5年 10月12日 (木)	9:30～13:50	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 (4時間) 講師：栗原美穂子氏	
		14:50～17:00	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する 事例 (4時間) 講師：渡邊愼一氏	
6 日 目	令和5年 10月13日 (金)	9:30～11:40	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・家族への支援の視点が必要な事例 (4時間) 講師：成田すみれ氏	
		12:40～17:00	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・認知症に関する事例 (4時間) 【講義】 ・個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 (2時間) 【講義・演習】 ・研修全体を振り返っての意見交換、講評及び ネットワーク作り (2時間) 講師：松川竜也氏	
7 日 目	令和5年 10月24日 (火)	9:30～13:50	【講義・演習】 ケアマネジメントの演習 ・認知症に関する事例 (4時間) 【講義】 ・個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 (2時間) 【講義・演習】 ・研修全体を振り返っての意見交換、講評及び ネットワーク作り (2時間) 講師：松川竜也氏	

**令和5年度 神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修32時間
研修日程・カリキュラム・研修会場＜別表2＞**

※記載の時間は講義時間です。今後変更する場合があります。詳細は受講決定通知にてご確認ください。
 ※受付・オリエンテーションは各日程ともに講義開始30分前から開始する予定です。
 ※各科目の終了時に「修了評価」を行います。研修終了時間はあくまで予定でございます。ご了承ください。

《Aコース》

日程	日 時		科 目	研修会場
1 日 目	令和5年 11月29日 (水)	10:00～15:20	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 (4時間) 講師：渡邊慎一氏	【会場受講】 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
		15:30～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・入退院時等における医療との連携に関する事例 (4時間) 講師：薄葉道子氏	
2 日 目	令和5年 11月30日 (木)	10:00～12:10	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 (4時間) 講師：栗原美穂子氏	【会場受講】 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
		13:10～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 (4時間) 講師：栗原美穂子氏	
オン ラ イ ン 受 講	令和5年 12月1日 (金) ～13日 (水)	(4時間)	【講義】 ・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 講師：今井伸氏	 各受講生の 視聴環境にて WEB 受講
3 日 目	令和5年 12月7日 (木)	10:00～15:20	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・認知症に関する事例 (4時間) 講師：神田けい子氏	【会場受講】 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
		15:30～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 (4時間) 講師：中村匡宏氏	
4 日 目	令和4年 12月18日 (月)	10:00～15:20	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、 施設サービス等）の活用 に関する事例 (4時間) 講師：新井仁子氏	
		15:30～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、 施設サービス等）の活用 に関する事例 (4時間) 講師：新井仁子氏	
5 日 目	令和4年 12月19日 (火)	10:00～12:10	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・家族への支援の視点が必要な事例 (4時間) 講師：伊庭裕美氏	

《Bコース》

日程	日 時		科 目	研修会場
1 日 目	令和5年 12月5日 (火)	10:00～15:20	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・認知症に関する事例 (4時間) 講師：神田けい子氏	【会場受講】 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
オン ラ イ ン 受 講	令和5年 12月6日 (水) ～18日 (月)	(4時間)	【講義】 ・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 講師：今井伸氏	 各受講生の 視聴環境にて WEB 受講
2 日 目	令和5年 12月14日 (木)	10:00～15:20	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、 施設サービス等）の活用 に関する事例 (4時間) 講師：新井仁子氏	【会場受講】 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 (横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
		15:30～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 (4時間) 講師：渡邊慎一氏	
3 日 目	令和5年 12月15日 (金)	10:00～12:10	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 (4時間) 講師：中村匡宏氏	
		13:10～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 (4時間) 講師：栗原美穂子氏	
4 日 目	令和4年 12月21日 (木)	10:00～15:20	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 (4時間) 講師：栗原美穂子氏	
		15:30～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・入退院時等における医療との連携に関する事例 (4時間) 講師：薄葉道子氏	
5 日 目	令和4年 12月22日 (金)	10:00～12:10	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・家族への支援の視点が必要な事例 (4時間) 講師：伊庭裕美氏	
		13:10～17:40	【講義・演習】ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 ・家族への支援の視点が必要な事例 (4時間) 講師：伊庭裕美氏	

WEB 申請の方法

本研修の参加申し込みは**WEB申請**ができます。ぜひご利用ください。

WEB 申請を希望の方は、以下のURLより申込みフォームにアクセスし、必要事項を入力してください。

【申込みフォームURL】

本研修センターホームページにある『介護支援専門員 実務研修/専門研修』専用ページにある入力フォームよりお申込みください。

(<https://www.yokohamashakyo.jp/willing/kensyu/caremgr/>)

( で検索してください。)

※下の二次元コードを使って、スマートフォン・タブレットから直接お申込みもできます。



【注意事項】

※ご利用にはデータ通信が必要となります。データ通信費はご自身のご負担となりますので、予めご了承ください。

※フォーム内で受講を希望する「専門研修課程Ⅰ（更新研修：56時間）」か「専門研修課程Ⅱ（更新研修：32時間）」を選択していただきます。同時に申請される方は、それぞれ別にご申請ください。

※必要な添付資料（登録証・修了証などの画像）は、スキャンやカメラで撮影した上で、「.jpg」「.png」「.gif」のいずれかのデータ形式のものを入力フォームから添付してください。

【個人情報について】

神奈川県介護支援専門員専門・更新研修の「受講申込書」等各種添付書類に記載された個人情報については、適正に管理を行い、当該研修及び修了証明書交付業務以外の目的に利用することはありません。また、本研修修了後には、修了者名簿に記載し、神奈川県へ報告いたします。

なお、研修受講決定の調整に必要な場合は、神奈川県指定の研修実施機関に受講申込者情報の一部を提供することもあります。

◆ 申込先 ◆

〒233-0002

横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー4階
福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜 人材開発担当

◆ 申込締切 ◆

令和5年 7月11日（火）

【受講申込書Ⅰ】 令和5年度 神奈川県介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ・更新研修（専門Ⅰと同内容）

申込者(受講希望者本人)の氏名等をご記入ください。

申込者 現勤務先	フリガナ			生年 月日	昭和 平成		年	月	日	
	氏 名	(姓)	(名)							
	電話 ※日中連絡が取れる番号	()		Eメール	@					
	住 所	〒 —								
	事業所番号	1	4							※実務に就いている場合のみ記入
	事業所名									
	所在地	〒 —								
電話番号	TEL ()									
介護支援専門員 登録番号									登録 都道府県	神奈川県
有効期間満了日	専門員証に記載の満了日を記入 (平成・令和) 年 月 日								★実務研修受講試験を 受験した時の資格条件	裏面の表より選択
その他	身体障害等のため、受講時における配慮を希望される場合はご記入ください。									

実務従事状況・更新状況等について、口内にカナ記号で回答し、() に必要事項を記入してください。

1 現在、介護支援専門員業務に、		
従事していない 場合	→ 介護支援専門員証の有効期間内に実務に就いた経験は？	ア (期間内) 経験が全くなし (→対象外)
従事している 場合	→ 申込時点における介護支援専門員としての通算実務経験年数は？	イ (期間内) 経験あり
		ウ (通算) 半年未満
		エ (通算) 半年以上、3年未満
		オ (通算) 3年以上

2 実務経験での勤務場所が、		
地域包括支援センターのみの 場合 → 配置された職種は？	カ 「介護支援専門員」として	
	キ 「介護支援専門員」以外として（予防プランナー、保健師、社会福祉士など） → ★別途『介護サービス計画作成証明書』の提出が必要です。	
地域包括支援センター以外の 事業所（を含む）の場合	ク （3ページの①～⑦に該当する事業所での勤務経験あり）	

3- (1) 介護支援専門員証の 有効期間満了日までの期間は？ ※研修開始時点（8/29）において	ケ 1年以上 (→専門研修) (1-ウの場合→対象外) →本研修修了の前に「専門研修Ⅱ」を受講不可。見込みでの申請は可。	
	コ 1年未満 (→更新研修) ⇒3- (2) へ	
3- (2) (1) がコの場合	サ 未受講	
→「実務経験者向け更新研修（専門Ⅱと 同内容）」の受講状況は？ ※現在の専門員証有効期間内において	シ 受講予定 (修了日・予定日： 年 月 日)	
	ス 受講中 (研修機関：)	
	セ 受講済 ※セの場合→「修了証」の写しを同封してください。	

4 これまでの更新の状況は？	ソ 今回が初めての資格更新	
	タ 前回「実務未経験者向け更新研修」または「再研修」を受講 (修了日： 年 月 日) ※「修了証」の写しを同封してください。	

◇郵送する前に、申込書の記入漏れ・添付資料がそろっているかなどをご確認の上、お申込みください◇

【必要書類】

☐ 受講申込書Ⅰ（全員提出 本様式）

「★介護支援専門員実務研修受講試験を受験した時の資格条件」については下記の中から1つ選択し、番号で記入してください。

1 医師	2 歯科医師	3 薬剤師	4 保健師	5 助産師	6 看護師	7 准看護師	8 理学療法士	9 作業療法士
10 社会福祉士	11 介護福祉士	12 視能訓練士	13 義肢装具士	14 歯科衛生士	15 言語聴覚士			
16 あん摩マッサージ指圧師	17 はり師・きゅう師	18 柔道整復師	19 栄養士	20 精神保健福祉士				
21 その他相談職	22 その他介護職							

☐ 「介護支援専門員証」の写し（全員提出）

☐ 「介護サービス計画作成証明書」（2の回答が『キ』の方）

（保健師または社会福祉士等として地域包括支援センターに配置され、就労している者のうち、現にサービス計画を作成、または作成した経験がある方）

☐ 「修了証の写し」（3－（2）の回答が『セ』の方）

（研修開始時点で有効期間が概ね1年未満の方（「実務経験者向け更新研修（専門Ⅰと同内容）」に申し込む方）で、現在の専門員証有効期間内での「実務経験者向け更新研修（専門Ⅱと同内容）」を受講済みの方）

☐ 「修了証の写し」（4の回答が『タ』の方）

（前回「実務未経験者向け更新研修」または「再研修」を受講した方）

【個人情報について】

神奈川県介護支援専門員専門・更新研修の「受講申込書」等各種添付書類に記載された個人情報については、適正に管理を行い、当該研修及び修了証明書交付業務以外の目的に利用することはありません。また、本研修修了後には、修了者名簿に記載し、神奈川県へ報告いたします。

なお、研修受講決定の調整に必要な場合は、神奈川県指定の研修実施機関に受講申込者情報の一部を提供することもあります。

◆申込先

〒233-0002

横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー4階
福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜 人材開発担当

◆申込締切

令和5年7月11日（火）【 消印有効 】

【受講申込書Ⅱ】 令和5年度 神奈川県介護支援専門員 専門研修課程Ⅱ・更新研修（専門Ⅱと同内容）

申込者(受講希望者本人)の氏名等をご記入ください。

申込者	フリガナ			希望コース	希望コースの優先順位を記入 (例、1位・2位等) ※未記入のコースは、 受講対象外とします。	位	Aコース	
	氏名	(姓)	(名)	生年 月日	昭和 平成	位	Bコース	
	電話 ※日中連絡が取れる番号	()	Eメール	@				
	住所	〒 -						
現勤務先	事業所番号	1	4					※実務に就いている場合のみ記入
	事業所名							
	所在地	〒 -						
	電話番号	TEL ()						
介護支援専門員 登録番号							登録 都道府県	神奈川県
		「介護支援専門員証」の写しを必ず同封してください。(登録地が神奈川県以外の方は登録地変更手続きが必要です。)						
有効期間満了日		専門員証に記載の満了日を記入 (平成・令和) 年 月 日				★実務研修受講試験を 受験した時の資格条件		裏面の表より選択
その他		身体障害等のため、受講時における配慮を希望される場合はご記入ください。						

実務従事状況・更新状況等について、口内にカナ記号で回答し、() に必要事項を記入してください。

1 現在、介護支援専門員業務に、					
<u>従事していない</u> 場合 → 介護支援専門員証の有効期間内に実務に就いた経験は？ <u>従事している</u> 場合 → 申込時点における介護支援専門員としての通算実務経験 年数は？	ア	(期間内) 経験が全くなし (→対象外)			
	イ	(期間内) 経験あり			
	ウ	(通算) 半年未満			
	エ	(通算) 半年以上、3年未満			
	オ	(通算) 3年以上			
2 実務経験での勤務場所が、					
地域包括支援センターのみの 場合 → 配置された職種は？	カ	「介護支援専門員」として			
	キ	「介護支援専門員」以外として (予防プランナー、保健師、社会福祉士など) → ★別途『介護サービス計画作成証明書』の提出が必要です。			
地域包括支援センター以外の 事業所 (を含む) の場合	ク	(3ページの①～⑦)に該当する事業所での勤務経験あり)			
3- (1) 介護支援専門員証の 有効期間満了日までの期間は？ ※研修開始時点 (11/29) において		ケ	1年以上 (→専門研修)	(1-ウ・エの場合) →対象外 (1-オの場合)	
		コ	1年未満 (→更新研修)	⇒3- (2) へ	
3- (2) (1) がケ・コのいずれの場合も → 「専門研修Ⅰ」または「実務経験者向け更新 研修 (専門Ⅰと同内容)」の受講状況は？		サ	未受講		
		シ	受講予定	(修了日・予定日： 年 月 日)	
		ス	受講中	(研修機関：)	
		セ	受講済	※セの場合→「修了証」の写しを同封してください。	
4 これまでの 更新の状況は？		ソ	今回は初めての資格更新		
		タ	前回「実務未経験者向け更新研修」または 「再研修」を受講して更新	(修了日： 年 月 日)	
		チ	前回「専門研修Ⅱ」または「実務経験者向け 更新研修 (専門Ⅱと同内容)」を受講して更新	※当該研修の「修了証」の写しを同封して ください。	

◇郵送する前に、申込書の記入漏れ・添付資料がそろっているかなどをご確認の上、お申込みください◇

【必要書類】

☐ 受講申込書Ⅱ（全員提出 本様式）

「★介護支援専門員実務研修受講試験を受験した時の資格条件」については下記の中から1つ選択し、番号で記入してください。

1 医師	2 歯科医師	3 薬剤師	4 保健師	5 助産師	6 看護師	7 准看護師	8 理学療法士	9 作業療法士
10 社会福祉士	11 介護福祉士	12 視能訓練士	13 義肢装具士	14 歯科衛生士	15 言語聴覚士			
16 あん摩マッサージ指圧師	17 はり師・きゅう師	18 柔道整復師	19 栄養士	20 精神保健福祉士				
21 その他相談職	22 その他介護職							

☐ 「介護支援専門員証」の写し（全員提出）

☐ 「介護サービス計画作成証明書」（2の回答が『キ』の方）

（保健師または社会福祉士等として地域包括支援センターに配置され、就労している者のうち、現にサービス計画を作成、または作成した経験がある方）

☐ 「修了証の写し」（3－（2）の回答が『セ』の方）

（研修開始時点で有効期間が概ね1年未満の方（「実務経験者向け更新研修（専門Ⅱと同内容）」に申し込む方）で、「専門研修Ⅰ」もしくは「実務経験者向け更新研修（専門Ⅰと同内容）」を受講済みの方）

☐ 「修了証の写し」（4の回答が『タ・チ』の方）

（前回「実務未経験者向け更新研修」または「再研修」を受講した方）

（前回「専門研修Ⅱ」または「実務経験者向け更新研修（専門Ⅱと同内容）」を受講した方）

【個人情報について】

神奈川県介護支援専門員専門・更新研修の「受講申込書」等各種添付書類に記載された個人情報については、適正に管理を行い、当該研修及び修了証明書交付業務以外の目的に利用することはありません。また、本研修修了後には、修了者名簿に記載し、神奈川県へ報告いたします。

なお、研修受講決定の調整に必要な場合は、神奈川県指定の研修実施機関に受講申込者情報の一部を提供することもあります。

◆申込先

〒233-0002

横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー4階
福祉保健研修交流センター
ウィリング横浜 人材開発担当

◆申込締切

令和5年7月11日（火）【消印有効】

(参考様式1)

西暦 年 月 日

介護サービス計画作成証明書

事業所名

所在地

管理者氏名

電話番号

印

次の者について、介護サービス計画作成していることを証明します。

ふりがな								
氏名								
生年月日	西暦 年 月 日							
介護支援専門 員登録番号								
職種								
介護サービス 計画作成期間	(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 ※現在も介護サービス計画作成している場合は、期間の終期を介護サービス計画作成証明書作成日と統一してください。							

研修の受講をお申込みの皆さまへ ＜申請前に再度ご確認ください＞

◆受講申込書の記入漏れはありませんか？

設問によって、記号での回答の他に修了日や研修機関名を記載する欄もあります。漏れのないようにご記入ください。

◆介護支援専門員証の写しは添付されていますか？

専門員証に記載されている「氏名」や「住所」が、現在のものであるかの確認をお願いします。

※変更されている場合は、その旨ご記入ください。

◆申込みに必要な「介護支援専門員証」「修了証」の写しは添付されていますか？

上記について、今一度ご確認ください、WEB・郵送でお申込みくださいますよう、お願いいたします。

令和5年度神奈川県介護支援専門員
専門研修課程Ⅰ・Ⅱ 実務経験者に対する更新研修
(専門研修課程Ⅰ・Ⅱと同内容)
研修のご案内

令和5年6月発行

発 行…社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
(福祉保健研修交流センター ウィリング横浜)
〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー4階
電話：045-847-6674 F A X：045-847-6676

印 刷…株式会社 シーケン